



子ども読書の日記念行事

絵本作家とよたかずひこさんによるトーク&絵本ライブ
「しんぱいごむよう! たのしいおはなし めしあがれ」を開催

と き 5月10日(土) 午後2時~午後3時30分

と ころ 光が丘図書館 視聴覚室 (練馬区光が丘4-1-5)

10日、子ども読書の日(4月23日)こどもの読書週間(4月23日~5月12日)の期間にあわせた催しとして、絵本作家のとよたかずひこ氏によるトーク&絵本ライブ「しんぱいごむよう! たのしいおはなし めしあがれ」が光が丘図書館で開催され、区内外の家族連れなど約90名が参加した。

とよた氏は「ももんちゃんあそぼう」「ワニのバルボンさん」「おいしいともだち」「うららちゃんののりものえほん」シリーズなど、たくさんの人気絵本を創り出している人気作家。なかでも性別も年齢も不詳のスーパー赤ちゃん、ももんちゃんが活躍する「ももんちゃんあそぼう」シリーズは、若いお父さんにも人気があり、今回もファミリー揃っての参加が目立った。

当日は、とよた氏の代表作である絵本「でんしゃにのって」の制作秘話などのお話や、絵本と紙芝居のよみきかせを行ったほか、とよた氏の著作を持参した方を対象としたサイン会も実施した。



【講演するとよた氏】

【当日の様子】

受付開始から2日間で定員に達した人気の催しとあって、開場時間前から大勢の家族連れが来館した。

とよた氏は、二人の娘さんの子育てをきっかけに絵本を描くようになったことや、西武新宿線沿線に住んでいた頃の、井の頭公園(武蔵野市)でボートに乗ったことや、滝山団地(東久留米市)内の公園で三輪車に乗ったことなどの楽しい思い出から、絵本が生まれたことを話してくれた。また、絵本を作る前に描く下絵画集など貴重な資料も披露したほか、ユーモアを交えた語り口調と次々と現れるほんわかとした絵柄の絵本や紙芝居に、小さな子供たちも熱心に見入っていた。講演会の終了後には、著作を持参した参加者一人ひとりに優しく話しかけながら、サインに絵本のキャラクターのイラストを描き加え、参加者を喜ばせていた。

【とよたかずひこ絵本コーナーの設置】

講演会の開催にあわせ、5月18日(日)まで光が丘図書館2階に「とよたかずひこ絵本コーナー」を設け、とよた氏の著作およそ180冊を展示・貸出ししている。

【講師紹介】

とよた かずひこ氏(経歴・作品)

昭和22(1947)年宮城県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。イラストレーターを経て絵本作家に。1997年、『でんしゃにのって』(アリス館)が厚生省中央児童福祉審議会児童文化財特別推薦を受ける。『どんどこももんちゃん』(童心社)で第7回日本絵本賞受賞。『あめですよ』が小学1年生の国語の教科書(東京書籍)に採用される。主な作品に「バルボンさん」シリーズ(アリス館)、「ももんちゃん」シリーズ(童心社)など。『いきものいっしょうけんめい』(ポプラ社)は中国語版が、「しろくまパパ」シリーズ(岩崎書店)は韓国語版が出版されている。

【問い合わせ】光が丘図書館 子供事業統括係 電話03-5383-6500